

行政評価シート【分野別施策】

分野別施策 4 -

消防・救急体制を強化する

目指す姿

消防・救急体制が充実し、迅速かつ的確な対応への信頼感が高まっており、安心感に包まれながら、穏やかに日常生活を送っています。

成果指標の達成状況

指標名	実績値					目標値
	計画策定時	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2027年度
火災出火件数	61件	50件				↘
救急搬送時間 ¹	30分58秒	31分22秒				30分30秒
消防団の訓練等実施回数	439回	630回				↗

1 救急活動における119番通報から病院収容までの平均所要時間のこと。

施策の推進に向けた主な取組の「成果」

- ・防火キャンペーンや少年消防クラブ員による火災予防に関する啓発活動を実施したほか、事業所と連携した実践的な消防訓練を実施しました。
- ・住宅密集地等において、消火用資機材の新設・更新や地域住民を対象とした取扱訓練を実施しました。
- ・最新の資機材を多数積載した救助工作車のほか、救急自動車、消防団車両など、計7台の車両を更新するとともに、崩落監視システムや移動式高圧空気製造設備を新たに導入・整備しました。
- ・消防団に高視認性活動服、防火衣、ハンディライト等を整備したほか、火災想定訓練、資機材取扱訓練等を実施しました。
- ・救急搬送が必要な患者を積極的に受け入れ、「断らない救急」を実践しました。

施策を推進する上での「課題（・）」と、課題解決を図るための「取組方針（ ）」

- ・市民の防火意識の高揚を図るとともに、消防用設備等を適正に維持管理する必要があります。
秋季・春季の火災予防運動や防火キャンペーンなど、多様な手段による広報活動を継続的に実施し、住宅用火災警報器の設置や維持管理を促進するとともに、自衛消防力の強化に資する消防訓練を実施することで、火災の未然防止や被害軽減につなげます。また、消防法令に基づく指導、審査及び検査を強化することにより、違反対象物の是正を促進します。
- ・住宅密集地等における火災の被害を最小限に抑える必要があります。
消火用資機材及び収納箱の新設や更新を進めるとともに、消防本部や消防団から実践的な訓練機会を提供し、初期消火体制の強化を図ります。
- ・複雑多様化する災害や激甚化する自然災害に的確に対応できるよう、消防力を充実・強化する必要があります。
最新機能を備えた消防車両や資機材の整備を計画的に進めることで、消防・救急業務の効率化・高度化を図ります。
- ・地域防災の要である消防団の充実・強化が必要です。
消防団員の安全装備や地域の特性を考慮した資機材の整備など、消防団の活動環境の充実を図ります。また、訓練・研修を通して消防団員の技術力の向上を図るとともに、消防団員の確保に向けた取組を実施します。
- ・より多くの命を救うため、救急搬送が必要な患者を積極的に受け入れる必要があります。
県内の消防本部等と救急患者の受入れに関する連携を継続し、「断らない救急」を実践します。

関連事業

住宅密集地等消火体制強化事業、火災予防推進事業、消防・救急業務高度化推進事業、消防分団運営事業、救命救急センター運用事業

決算額

	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
事業費（千円）	64,461			